

横浜市景況・経営動向調査 第 50 回

特別調査 - 市内企業の CSR（企業の社会的責任）の取組みについて -

横浜市経済局 2004年9月
(財)横浜・神奈川総合情報センター

ホームページ <http://zaidan.iris.or.jp/research>

特別調査結果

- 市内企業におけるCSR（企業の社会的責任）の取組みについて -

特別調査回収数374社（回収率：41.0%）

	市内本社企業			市外本社企業	合計
	大企業	中堅企業	中小企業		
製造業	21 (41)	22 (54)	116 (301)	16 (51)	175 (447)
非製造業	32 (67)	96 (206)	41 (113)	30 (80)	199 (466)
合計	53 (108)	118 (260)	157 (414)	46 (131)	374 (913)

注 下段の（ ）内は発送企業数

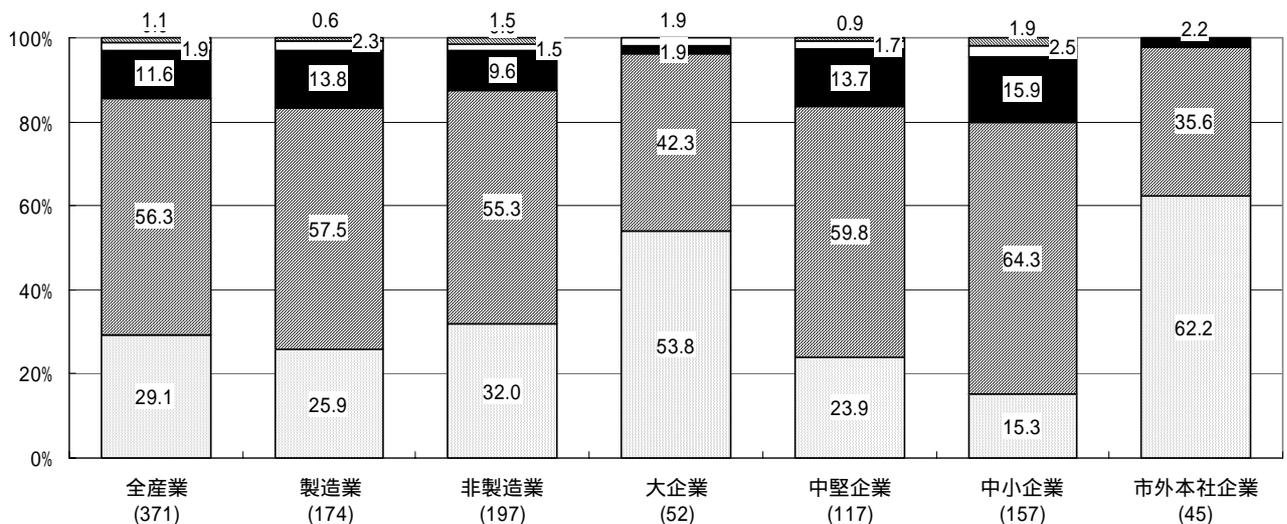
(1) 企業経営におけるCSRの位置づけ

企業経営におけるCSRの位置づけについては、「非常に重要視している」が29.1%と約3割を占め、「重要視している」(56.3%)と合わせて85%の企業が「重視している」と回答している。

業種別では、非製造業で製造業よりも「非常に重要視している」が上回っているが、「重要視している」は逆に製造業の回答率がやや高く、両者の合計である「重視している」という回答はほぼ同程度である。

規模別にみると、大企業、市外本社企業で「非常に重要視している」という回答が中堅企業、中小企業と比較すると非常に高くなっている。「非常に重要視している」は大企業(53.8%)、市外本社企業(62.2%)では5割を超え、最も高い回答となっているのに対して、中堅企業、中小企業では「重要視している」が最も高い回答となっており、「非常に重要視している」は10~20%台の回答にとどまっている。また、中堅企業、中小企業では、「どちらともいえない」が10%を超える回答率となっているのに対して、大企業、市外本社企業では「非常に重要視している」、「重要視している」以外の回答はほとんどみられず、規模が大きいほどCSRを重視する傾向が見て取れる。

図1 企業経営におけるCSRの位置づけ（業種別、規模別）



□非常に重要視している □重要視している ■どちらともいえない □それほど重要視していない □重要ではない □良く分からない

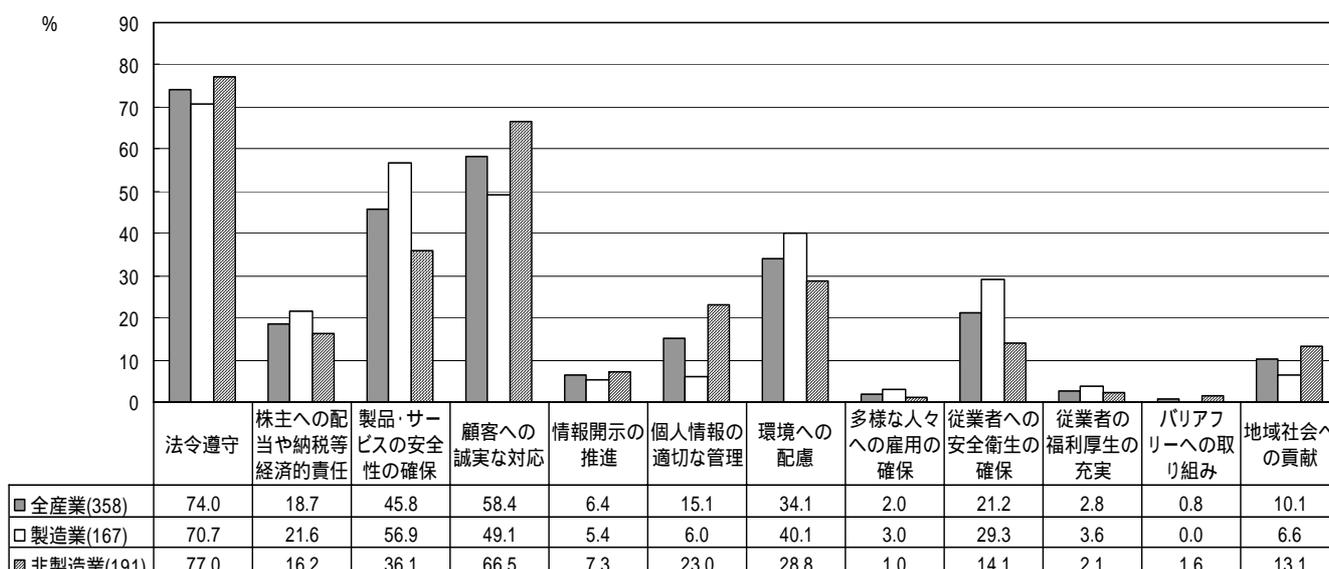
()内は回答件数

(2) CSRの具体的な取組み

市内企業がCSR（企業の社会的責任）に関連して、重視して具体的に取り組んでいる内容は「法令遵守」が74.0%で最も高い回答となっており、以下、「顧客への誠実な対応」（58.4%）、「製品・サービスの安全性の確保」（45.8%）、「環境への配慮」（34.1%）が続いている。市内企業においては、CSRの中でも法的責任に取り組んでいる企業が最も多くなっており、経済的責任としては、顧客に対する責任を重要視していることが分かる。また、倫理面や社会貢献的なものとしては、環境問題を重視して、具体的な取組みを行っている企業が多くなっている。

これを業種別にみると、「製品・サービスの安全性の確保」では、製造業が非製造業の回答率を大きく上回っている一方で、「顧客への誠実な対応」、「個人情報の適切な管理」については、非製造業が相対的に高い回答となっており、顧客に対する企業責任については、業種別に差違がみられる。この他では、「環境への配慮」、「従業員の安全衛生の確保」について、製造業で非製造業よりも回答率が高いという特徴が見られる。

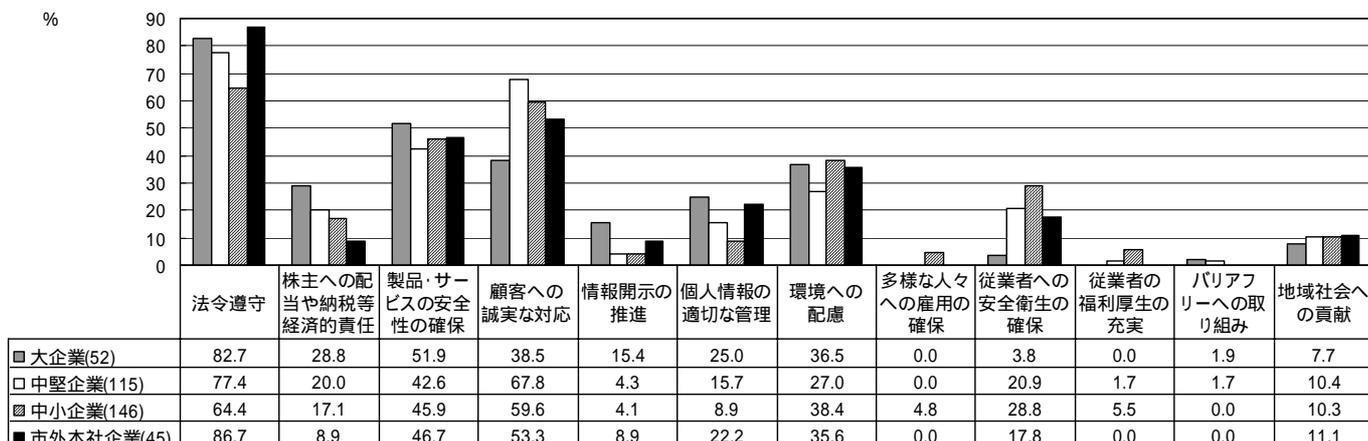
図2 CSRに関連して、具体的に取り組んでいる内容（業種別）



()内は回答件数

規模別にみると、「法令遵守」は規模が大きいほど高いという特徴がみられ、大企業、市外本社企業では回答が80%を上回っているのに対し、中小企業では60%強の回答となっている。また、「株主への配当や納税等経済的責任」、「個人情報の適切な管理」等も大企業においては、他の規模と比較して取り組んでいる企業の割合が高くなっている。一方、中堅企業、中小企業では、「顧客への誠実な対応」、「従業員の安全衛生の確保」等が大企業と比較して回答率が高くなっていることが特徴である。

図3 CSRに関連して、具体的に取り組んでいる内容（規模別）



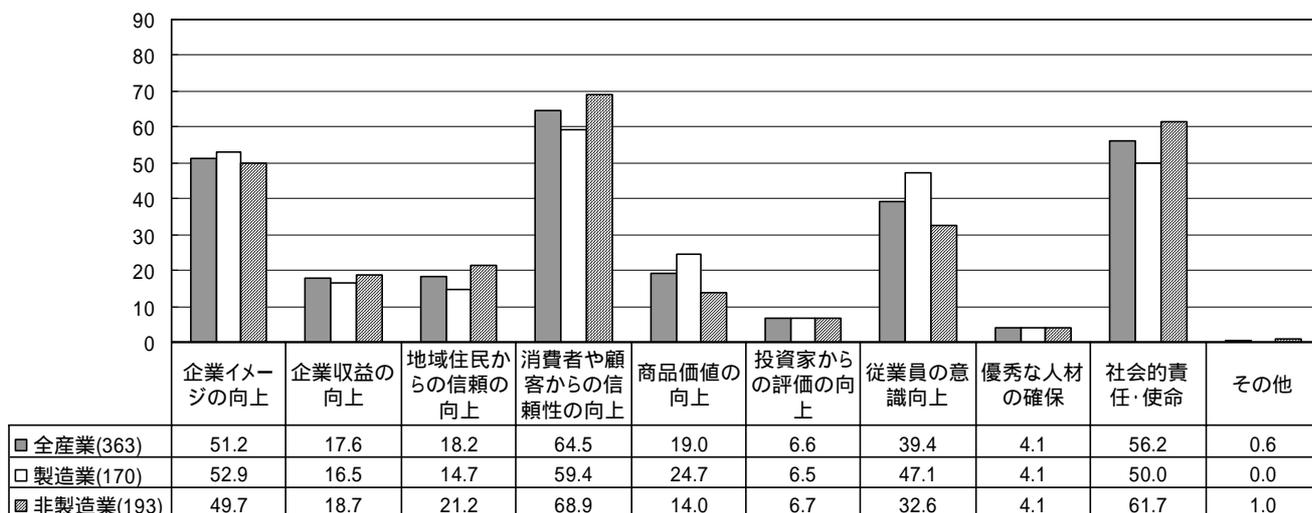
()内は回答件数

(3) CSRに取り組む意義・メリット

CSRに取り組む意義・メリットは、「消費者や顧客からの信頼性の向上」をあげる企業が64.5%で最も高くなっており、これに続く「社会的責任・使命」(56.2%)、「企業イメージの向上」(51.2%)も回答率が5割を超え、高い回答となっている。

業種別では、「消費者や顧客からの信頼性の向上」、「社会的責任・使命」については、非製造業でより高い回答率となっており、「従業員の意識向上」では製造業の回答率が非製造業を上回っている。

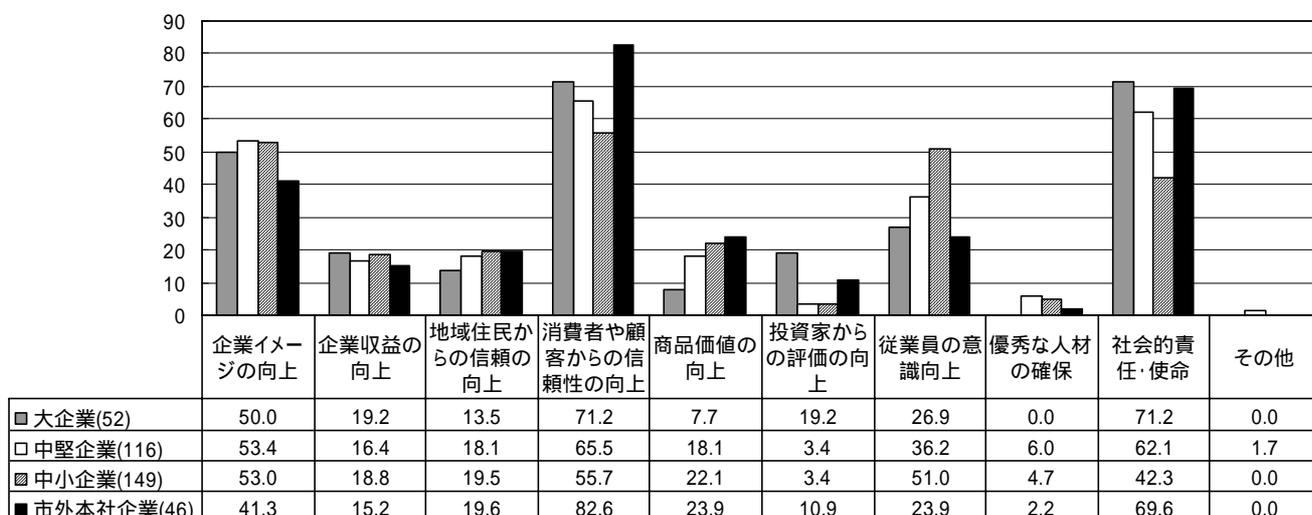
図4 CSRに取り組む意義・メリット(業種別)



()内は回答件数

規模別にみると、回答率の高かった項目のうち、「企業イメージの向上」については、規模別で回答率に大きな差異は見られないが、「消費者や顧客からの信頼性の向上」、「社会的責任・使命」については、規模が大きいほど回答率が高いという特徴が見られる。この一方で、「従業員の意識向上」、「商品価値の向上」については、規模が小さいほど回答率が高くなるという傾向があり、特に「従業員の意識向上」については、中小企業では回答率が5割を超えており、CSRに取り組む意義・メリットとしてあげる中小企業が非常に多くなっている。

図5 CSRに取り組む意義・メリット(規模別)



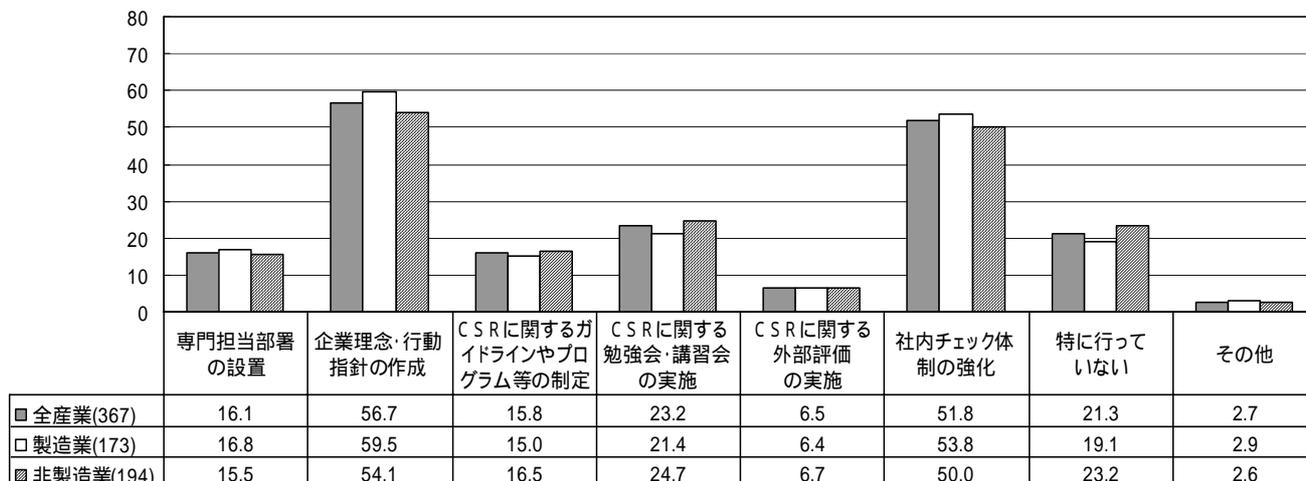
()内は回答件数

(4) CSRの取組みに際しての体制・制度

CSRの取組みに際して、市内企業がとっている体制・制度は、「企業理念・行動指針の作成」(56.7%)、「社内チェック体制の強化」(51.8%)に回答が集中しており、これらの項目は回答率が5割を超えている。一方、「特に行っていない」という回答は21.3%にとどまっており、8割程度の企業については、CSRの取組みに際して具体的な体制・制度をとっていることが分かる。

業種別ではそれほど大きな差異は見られない。

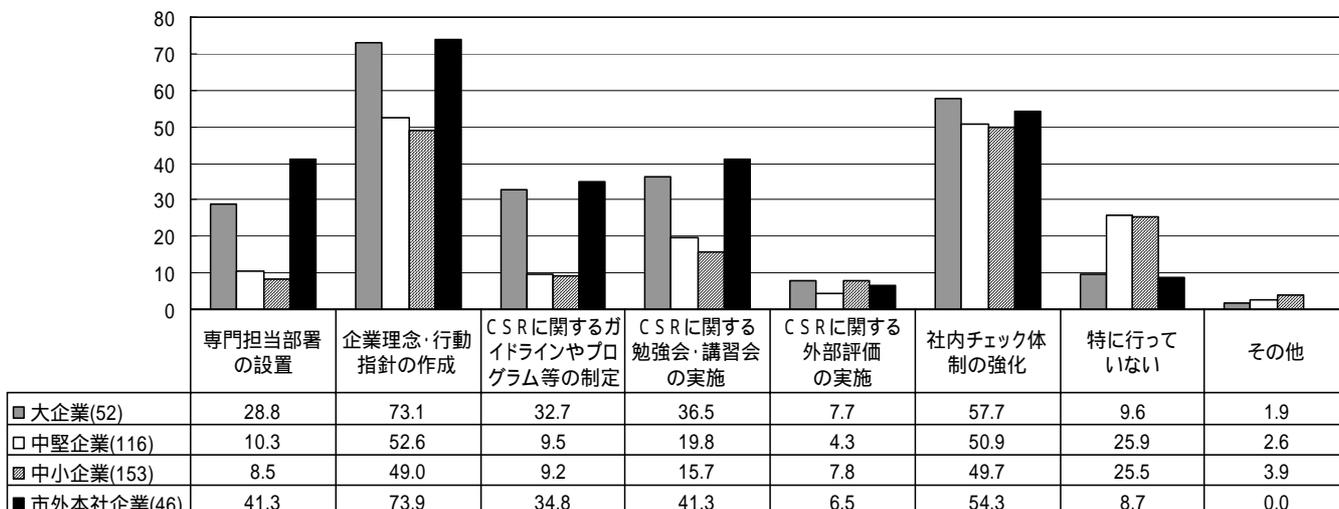
図6 CSRの取組みに際しての体制・制度(業種別)



()内は回答件数

規模別にみると、大企業及び市外本社企業では、ほとんどの項目において、中堅企業、中小企業と比較して回答率が高くなっており、CSRの取組みに際して具体的な体制、制度をとっている割合が高くなっている。逆に、「特に行っていない」については、中堅企業、中小企業では回答率が25%を超えているのに対して、大企業、中小企業では10%を下回る回答率となっている。回答率の高い2つの項目については、「社内チェック体制の強化」は規模別に大きな差異は見られない一方で、「企業理念・行動指針の作成」は大企業、市外本社企業が中堅企業、中小企業の回答を大きく上回っており、規模別に取組み状況に差がみられる。

図7 CSRの取組みに際しての体制・制度(規模別)



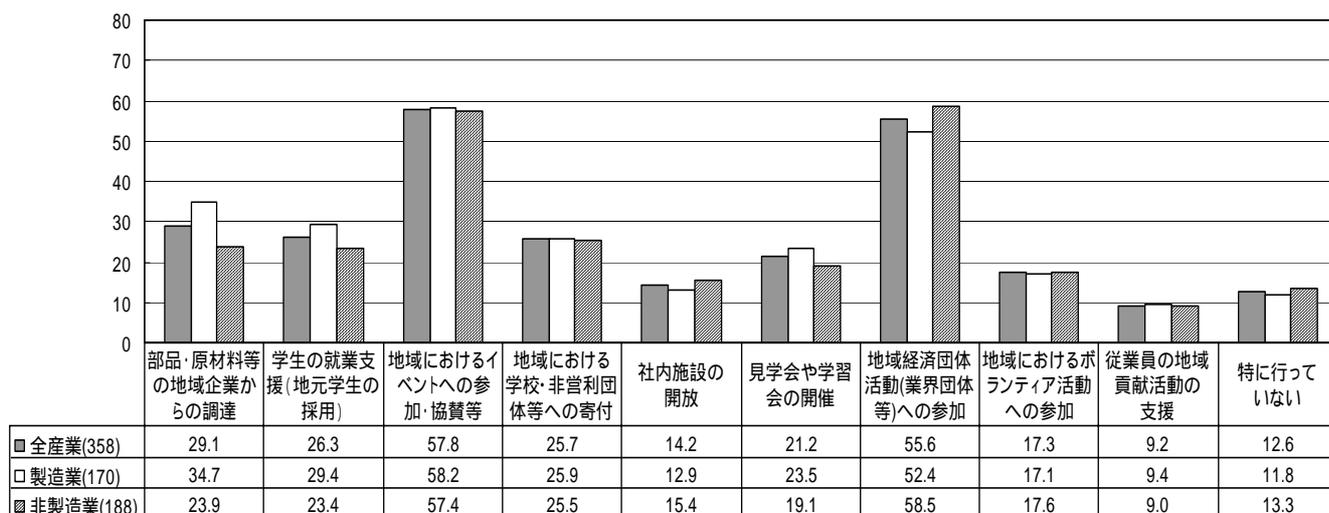
()内は回答件数

(5) 地域貢献活動

市内企業がこれまで行ってきた地域貢献活動としては、「地域におけるイベントへの参加・協賛等」(57.8%)、「地域経済団体活動(業界団体等)への参加」(55.6%)の両項目をあげる企業が多く、ともに5割を超える回答率となっている。また、これに続いては、「部品・原材料等の地域企業からの調達」(29.1%)、「学生の就業支援(地元学生の採用)」(26.3%)、「地域における学校・非営利団体等への寄付」(25.7%)等の回答率が高くなっている。「特に行っていない」と回答した企業は12.6%であり、企業の9割程度が何らかの地域貢献活動を行っているという特徴がみられる。

業種別にみると、「部品・原材料等の地域企業からの調達」では製造業の方が回答率が高いという特徴がみられる。

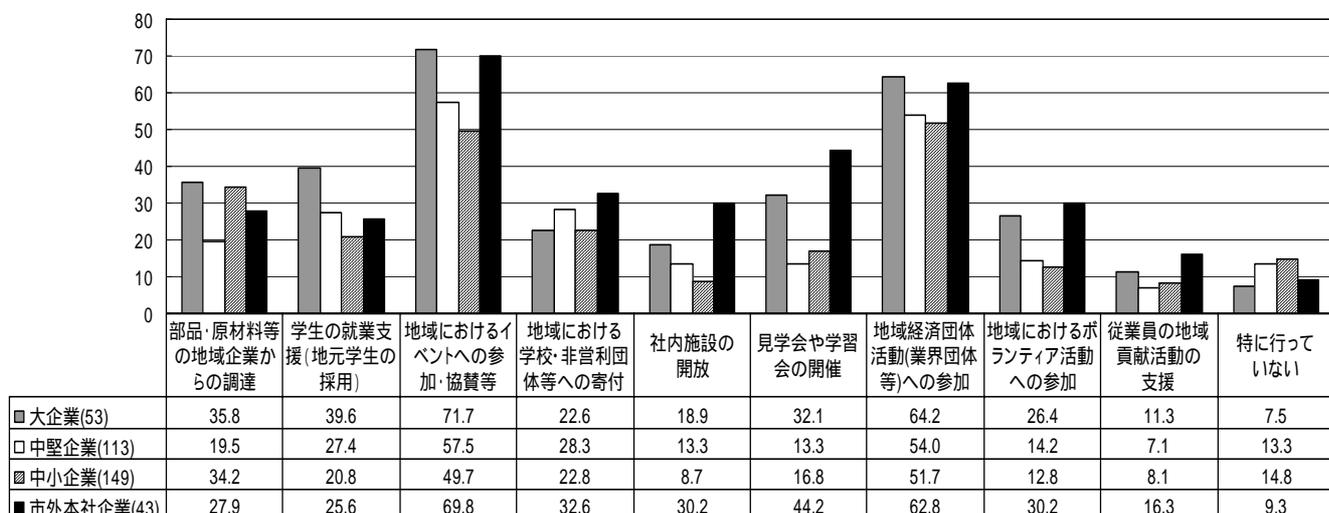
図8 これまで行った地域貢献活動(業種別)



()内は回答件数

規模別でみると、全体的に、大企業、市外本社企業において中堅企業、中小企業よりも回答率が上回っているという傾向が見られる。全体の回答率の高かった「地域におけるイベントへの参加・協賛等」、「地域経済団体活動(業界団体等)への参加」の他、「社内施設の開放」、「見学会や学習会の開催」、「地域におけるボランティア活動への参加」等の項目では、大企業、市外企業と中堅企業、中小企業で回答率の差が特に大きくなっている。

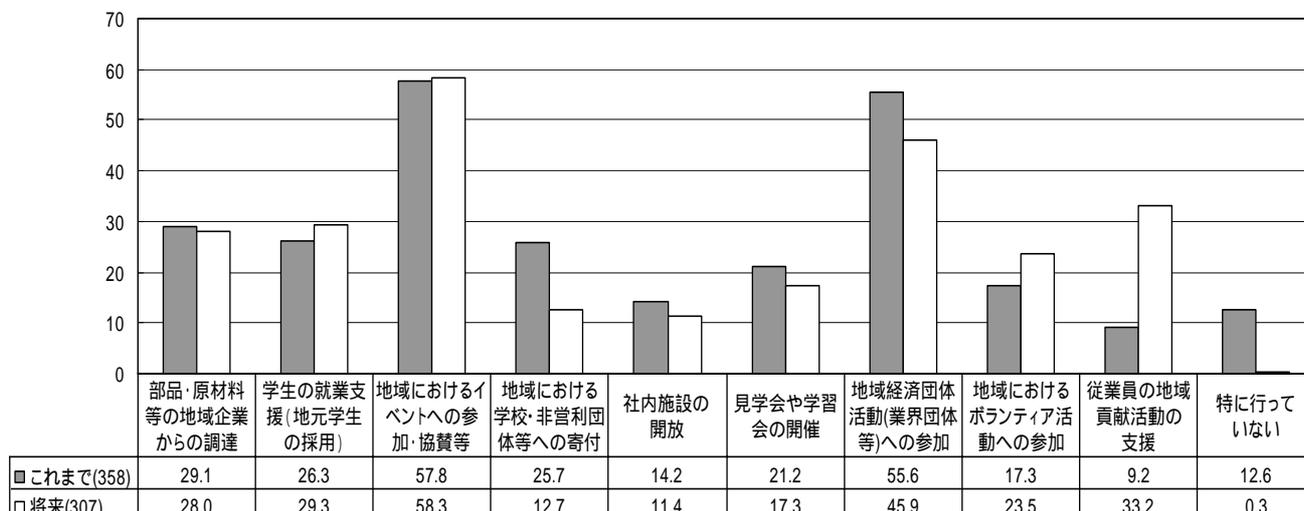
図9 これまで行った地域貢献活動(規模別)



()内は回答件数

将来、積極的に行っていきたい地域貢献活動は、“これまで行った地域貢献活動”と同様、「地域におけるイベントへの参加・協賛等」が58.3%で最も高く、「地域経済団体活動(業界団体等)への参加」(45.9%)がこれに続いている。「従業員の地域貢献活動の支援」、「地域におけるボランティア活動への参加」については、“将来”の回答率が“これまで”を上回っており、特に「従業員の地域貢献活動の支援」は“将来”の回答が3割を超えており、これまでの実施状況と比較して、将来的に特に力を入れていきたい地域貢献活動となっている。

図 10 将来積極的に行っていきたい地域貢献活動

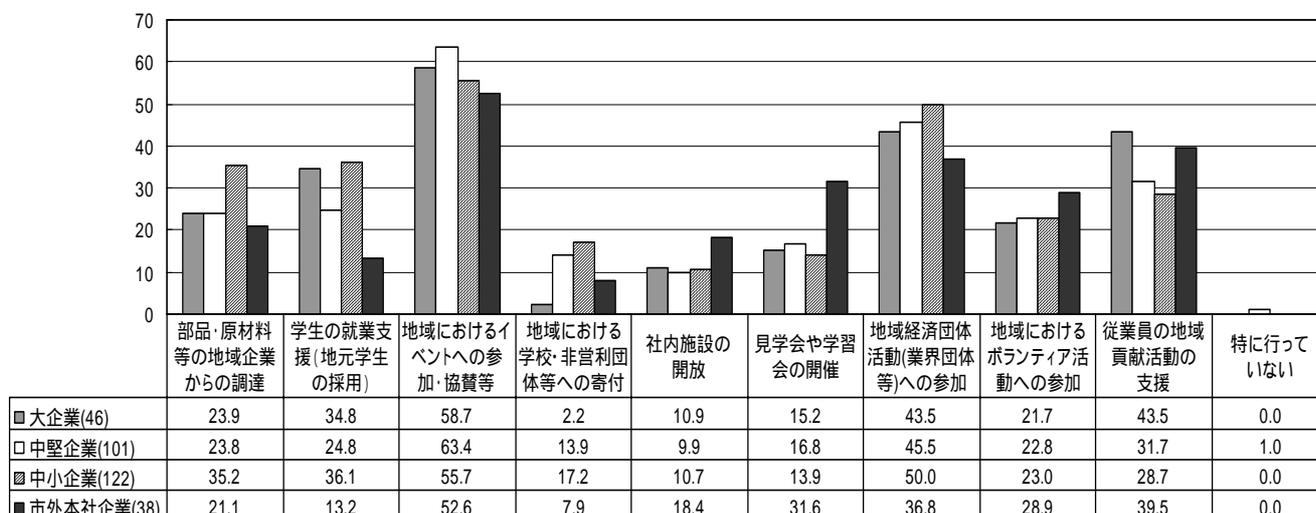


1 : () 内は回答件数。

2 : 「これまで」は図8の全産業を再掲。

将来について、規模別にみると、これまでの実施状況(図9)と比較して、総じて中堅企業、中小企業において積極的な姿勢がみられ、“これまで”と比較すると規模別の差は小さくなっている。回答率の高い項目についてみると、「地域におけるイベントへの参加・協賛等」は中堅企業で最も回答率が高く、「地域経済団体活動(業界団体等)への参加」では中小企業で回答率が最も高くなっているなど、規模別の特徴は“これまで”とは異なった傾向が見られる。また、“これまで”と比較して“将来”が特に高かった「従業員の地域貢献活動の支援」については、大企業、市外本社企業において、中堅企業、中小企業よりも回答率が高くなっている。

図 11 将来積極的に行っていきたい地域貢献活動(規模別)



() 内は回答件数。